

市議会だより



二十歳の祝典

テーマは
「二十歳の抱負」

主な内容

P2～5
P6
P7～P12
P13～P16

特集記事
令和7年12月定例会
一般質問
委員会報告

P17～P18
P19
P20

視察研修報告
議案・請願等の議決結果
編集後記



議会議録画映像アーカイブ

二十歳の祝典運営委員の皆さんと 意見交換会を行いました!!

12月4日、二十歳の祝典運営委員の皆さんと広報委員会委員とで意見を交わしました。宇土市のいいところ、要望したいところなど、1時間30分ほどではありましたが、貴重な時間を過ごしました。

今回はそこで意見交換された内容を紹介します。なお、運営委員の皆さんは1月11日に開かれた祝典を盛り上げるべく、アトラクションや受付を担っていただいた方々です。

二十歳の祝典運営委員出席者（敬称略）

【宇土】坂本 涼音・園川 澄恋・中村 真桜・福原 紗和 【花園】内門 桃花・太田 千聖・高橋 凜・坊村 聖南 【走潟】東野 祐大 【網津】谷口 両平・牧本 連 【網田】西口 瑠菜
【宇土東】堂上 茉央・橋口 寧・福原 舞桜・前田 彩花

宇土のいいところ、 変わってほしいところ はありますか？

【宇土のいいところ】

- 自然が身近にあり、街とのバランスがちょうどいい。気張りすぎず、居心地がいいまちと思う。
- 食べ物がおいしく、観光客も多く訪れている。
- 長部田海床路や商業施設など、これらの活性化に期待している。
- 地域の人とのつながりがあり、安心して暮らせると感じている。
- 知られていない、小さな観光スポットを巡れるのも魅力です。

【改善してほしい点】

- 学校や体育施設の空調が整い、夏でもスポーツがしやすくなった。
- 自然があるところ。野生動物に遭遇するのは魅力の一つだと思う。
- 近所を走るバスが減り、公共交通が少なくなっている。
- 【議員】市議会でも問題視していて、市に要望もしている。コミュニティバスの活用が最も可能性があるよね。
- 駅からの帰り道など、街灯が少なく夜は不安を感じる。
- 【議員】外灯は安全上必要だが、維持費負担の調整など課題がある。また、住まいの行政区が市の補助金を活用して設置する流れとなっているよ。
- 道路の凹凸が多く、運転しづらい場所がある。



●宇土駅周辺では、夜間の車両の騒音が気になることがある。

【議員】駅高架下の騒音は進入経路を塞ぐ等、警察の注意だけでなく構造対策も必要になるね。

●制度や支援はあるが、「知らなかった」という声も多く、情報が十分に届いていないと感じる。

【議員】周知は「公式LINE」を活用するといいいね。未登録者へ登録をもっと促進していかねばならない課題はあるけれど。困りごと入力↓該当制度を提案する仕組み(AI的発想)もこれからは必要になってくるかもしれないね。

●通学や移動の面で、JR三角線の本数や利便性を高めてほしい。

【議員】議会で取り上げたので、頑張りますね。

●中心地に日常的に使える体育館がほしい。使えるけど広く使えない。

【議員】よくその要望を聞きます。どうにかしないといけないな。

【若者の「居場所」への声】

●勉強も会話もできるフリースペースがほしい。市役所一階は便利だが、少し話づらい雰囲気がある。

●図書館に、カフェのように過ごせる空間があればうれしい。

【議員】新しい図書館を「多目的交流施設＋図書機能」で整備予定だけど、カフェ店舗が入る構造にはなっていないみたい。利用者側の本音は「本が多い図書館」よりも、ゆっくり喋れておしゃれな空間を求めているよね。

●ぜひ充電用のコンセントとWi-Fiを完備してほしい。

【議員】Wi-Fiはあるけど電波が弱く使えなかったら意味がないよね。USBコンセントも含めて要望しますね。

生成AIとの付き合い方

◆挙手：運営委員ほぼ全員が利用経験あり

【議員】ChatGPT利用で友達が減った？

●減らない。リアルと使い分けている。



大人はかつてよく見える？

- 親はすごい面もあるが「それどうなの？」と思うときもある。
- 憧れる大人像が見えにくい。
- 理想像がなく分からない。



政治への関心は？

- ◆ 挙手：手が上がらず、政治関心は低め
- 【議員】有権者となった方で投票経験がある人は？
- ◆ 挙手：1人を除きほぼ全員
- 【議員】素晴らしい。でも投票しなかった人は何故しなかったの？
- 選挙があるとは知っていて、投票意識もあったけど、いつの間にか終わっていた。以後注意しなければならないと思う。

二十歳から議員への質問等

高齢者・子ども・地域が世代を超えて交流する機会はある？

【議員】敬老会で保育園・小学生の出演がある他、子どもまんなかイベント、老人クラブのeスポーツ、学校の餅つき等もあるよ。



雀荘やバッチョングセンターがあつたらいいな

【議員】民業なのでなかなか市で誘発は厳しいけど、健康麻雀は公民館でやっている。バッチョングセンターはほしいね。

- 初めて議員さんと交流ができた。貴重な機会だった。
- 要望が実現できたら嬉しい。
- 宇土市のことをよ

二十歳の祝典運営委員の感想



※今回意見交換する中でよく出てきていた言葉です。多かった言葉ほど大きい文字になります。

映画館を
雀荘を

フリースペースもっと

図書館

観光資源
インバウンド

夜中にバイク音うるさい

野生動物

投票率 90%

自然豊か

外灯を
暗い

食べ物豊か

ガタガタしている道路多い

自然と街のバランスがちょうど良い

パッティングセンターを

体育館の空調最高

体育館が狭い

バスが無い・不便

ワードクラウド

り身近に感じるようになったし、好きになった。

〔委員長所見〕

これからの宇土市を背負う若者の皆さんとの意見交換は貴重な機会でした。いただいた意見はしっかり市政に反映し、若者から選ばれる市に向かっていければと思います。



令和8年2月1日

令和7年 12月定例会

12月定例会を11月28日から12月15日まで、18日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市税条例の一部改正など条例関係5件、令和7年度宇土市一般会計補正予算など予算関係6件、人事案件2件、その他8件、議員提出議案として外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書など4件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

また、令和7年9月定例会で、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としていました令和6年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算6件を認定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は13～16ページに、議決結果は19ページに記載しています。

条例

◆宇土市税条例の一部改正

熊本県税条例の一部改正に準じ、身体障がい者等に対する軽自動車税の種別割の減免対象を拡充するため、条例を改正するもの。

【主な内容】

・減免対象の拡充

変更前	変更後
原則、障がい者が所有する車両 次の場合は同一生計者の所有も可 ・身体障がい者が18歳未満 ・精神障がい者	・障がい者が所有する車両 ・同一生計者が所有する車両

【施行日】 令和8年4月1日

◆宇土市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の改正により、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める必要があるため、条例を制定するもの。

【事業の概要】

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)保育所等に入園していない満3歳未満の乳児又は幼児に対する適切な遊び場の提供や当該保護者に対する面談等の援助を行う事業

【主な内容】

1 事業の区分

・一般型乳児等通園支援事業 保育利用定員とは別に定員を設定して受入れ

・余裕活用型乳児等通園支援事業 利用児童数が定員より少ない場合に、定員範囲内で受入れ
設備・職員配置の基準

千円増額し、総額を248億5、724万6千円とする。主なものは、物価高対応子育て応援手当支給事業の増額補正
※補正予算(第5号)は次ページ

その他

◆指定管理者の指定

指定管理者を指定する必要があるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

	一般型乳児等通園支援事業	余裕活用型乳児等通園支援事業
設備基準	(満2歳未満) 乳児室 1.65㎡/人以上 又は ほふく室 3.3㎡/人以上 (満2歳以上) 保育室又は遊戯室 1.98㎡/人以上	各施設の設備及び運営基準
職員配置基準	(満1歳未満) 乳児おおむね3人につき1人以上 (満1歳以上満3歳未満) おおむね6人につき1人以上 ※1事業所につき2人を下回らないこと。	各施設の職員基準

【施行日】 公布の日

予算

◆令和7年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ1億3、301万2

管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定の期間
宇土市健康福祉館	九州綜合サービス株式会社	令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
網田レトロ館	NPO法人網田倶楽部	令和8年4月1日から令和13年3月31日まで
宇土市老人福祉センター、宇土市西部老人福祉センター	九州綜合サービス株式会社	
宇土市網津公民館網引分館	網引地区振興会	
宇土市民会館	NPO法人宇土の文化を考える市民の会	
宇土市網田焼の里資料館	網田の魅力発見隊	

◆令和7年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ6億7,646万円を増額し、総額を247億2,423万4千円とする。

【単位：千円】

費目 (歳出概要)	補正額	補正額の財源内訳		歳出の主なもの ()内は補正額 ▲は減額補正
		特定財源	一般財源	
総務費	58,365	63,006	▲ 4,641	市有施設整備基金経費 (50,000)
民生費	355,485	276,207	79,278	障害者福祉サービス事業経費 (106,000) 子どものための教育・保育給付事業 (245,821)
衛生費	2,718	2,861	▲ 143	令和7年8月豪雨災害対策経費〔環境交通課〕 (814)
農林水産業費	1,180	100	1,080	職員給 (1,180)
商工費	82,266	134	82,132	マリーナ施設管理経費 (80,762)
土木費	20,561	13,755	6,806	緊急浚渫推進事業 (12,566)
消防費	7,706		7,706	常備消防費 (7,706)
教育費	74,335	17,552	56,783	学校施設管理経費〔施設・小学校〕 (44,864)
災害復旧費	73,844	114,595	▲ 40,751	令和7年8月豪雨災害対策経費〔農林政策課：県営事業 災害〕 (30,250)
合計	676,460	488,210	188,250	

令和7年12月宇土市議会定例会 一般質問一覧表



【一般質問】

発言順	氏名	質問事項(大項目)	掲載ページ
1	今中 真之助	(1) 主権者教育と選挙管理体制全般について (2) 農業経営基盤強化構想の進捗と、農地集積・みどり戦略・所得補償・自給率向上に向けた取組について (3) 国の制度活用による市の活性化と職員負担軽減について (4) 地域運営組織(RMO)を活用した地域課題の解決と持続可能な地域づくりについて (5) 宇土マリーナについて	8
2	檜崎 政治	(1) 地域運営組織(RMO)及び指定地域共同活動団体への移行について (2) 松橋産交ターミナル廃止後の生活への影響と交通空白地域への対応状況について (3) 障害者控除対象者認定書の周知及び申請支援体制の強化について	8
3	中口 俊宏	(1) 国旗・国歌について (2) 宇土市の施政方針について	9
4	藤井 慶峰	(1) 市政4期目を振り返って (2) 飯塚川の改修について	9
5	福田 慧一	(1) 介護保険の施設等に対する財政支援について (2) 木造住宅の耐震化促進について (3) 小・中学校の図書室の充実について (4) 宇土市内の土砂災害危険区域について	10
6	土黒 功司	(1) 子どもの安全を守る。宇土市の未来をつくる「通学路の安全対策」について (2) 多目的市民交流施設整備に関する事業規模・優先順位・運営モデルについて (3) 地域価値の向上へ。「稼ぐ力」と「暮らしの質」を高める地域自走モデルの実現について	10
7	中野 洋一	(1) 物価高対策について (2) 交流人口・関係人口増加への取組について (3) 災害対策について (4) 技術系市職員向け奨学金返還支援制度について	11
8	浦本 晴美	(1) こどもまんなか社会を実現するサービスの在り方について (2) 男女共同参画・女性活躍推進事業の未来について	11
9	佐美 三洋	(1) JR三角線の乗車状況等について (2) JR三角線における市の理解・認識について (3) JR三角線利用促進に向けた取組について (4) JR三角線に関する市としての方向性について	12

※上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。

※上記QRコードから、定例会の録画映像を視聴できます(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です)。

新たな桟橋整備の可能性も含め、改めてマリーナ整備を議論すべき 市長



宇土市政研「志」 今中 真之助 議員



農業経営基盤強化構想の進捗について

問 農業経営基盤強化構想の進捗状況と、有機農業の取組状況、若い農業者が安心して農業に挑戦できる環境づくりについて、市の考えを問う。

答 農地集積、担い手や新規就農者確保に取り組んでいるが、一方で非合法な農地貸借も多く、集積状況の正確な把握が課題である。有機農業については、みどりの食料システム戦略を推進するため、化学肥料や農薬の使用を抑えるなど、環境負荷の低減に計画的に取り組む「みどり認定」を受ける農業者を増やすことが重要であると考えている。また、農地中間管理機構との連携や耕作放棄地対策を進め、生産基盤の維持・強化と本市の農業の持続的発展を目指す。（経済部長）



来年度中に撤去予定の老朽化したくし型浮き桟橋

宇土マリーナについて

問 老朽化が進む宇土マリーナについて、浮桟橋撤去が決定されたが、撤去ありきで議論が進んでいなかったか。また、撤去後に新たな桟橋を整備する可能性も含め、今後の利活用方針を尋ねる。

答 更新費用及びランニングコストの大きさから桟橋撤去を判断した。撤去後の空きスペースの利活用については、新たな桟橋整備の可能性は排除しないが、費用や財源の課題も踏まえ、市や市民に有益な策を、改めて議論をすべきと考える。（市長）

松橋産交ターミナル廃止後の生活への影響と交通空白地域への対応状況



無所属 樫崎 政治 議員



問 9月議会以降の市の動きは。また、地域住民の声にどうこたえていく考えか。

答 まず、10月8日付けで産交バス株式会社に対し要望書を提出した。また、10月のバス路線廃止以降、地域住民から何件か意見・要望が寄せられ、その中で松山地区住民の要望には、のんなっせのバスルートを変更し、さらにバス停を新設する準備を進めている。（企画財政部長）

問 路線バス廃止に伴い、地域公共交通の見直しを今後どう進めるのか。

答 長期的な視点に立った見直しについては市の計画に位置付けた上で、地域公共交通会議等において承認を得た後、国の認可を得るという流れのため、少なくとも1年以上の時間を要するが、松山から宇土駅までのルートについては、最優先で検討すべきだと考えている。（企画財政部長）



ミニバス「のんなっせ」

問 路線バスの代替手段の検討は。また、移動手段を必要とする地域住民のため、タクシージェットの配布やデマンド型交通などの検討が必要では。

答 デマンド型交通は有効な手段と認識しているが、財源や事業を担うタクシードライバーの不足から現実的ではないと考える。タクシージェットも同様であるため、暫定案となるがのんなっせのバスルート延伸を予定している。併せてタクシードライバー確保の強化も取り組みたい。（市長）

国旗と国歌について



無所属 中口 俊宏 議員



問 国旗と国歌は、平成11年8月9日「国旗及び国歌に関する法律」として成立し、「第一条第一項 国旗は、日章旗とする。第二条第一項 国歌は、君が代とする。」と規定された。法律の成立を受けて、内閣総理大臣談話が発表され、教育関係について「学校教育においても国旗と国歌に対する正しい理解が促進されるものと考えている」等と発表された。これらを受けて、本市の小中学校における国旗と国歌に対する教育の現状について質問する。

答 国旗については、小学校5年生の社会科において、日本の国旗を含め、様々な国の国旗に触れる機会を設け、その意義や由来について考えさせる授業を行っている。中学校では、地理と公民において、国旗の意義

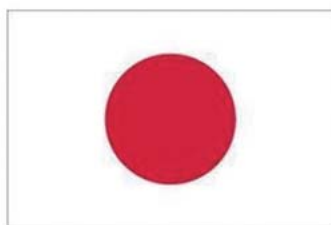
や成り立ち、各国の国旗を尊重することの大切さを学ぶ機会を設けている。国歌について、小学校では、学習指導要領に定めてあるように、本市においても1年生から6年生まで全学年で指導が行われている。中学校では、公民において、「君が代」が国歌として定められていること、また、各国の国歌を大切にすることなどを指導している。（教育長）

国旗及び国歌については、平成11年8月9日「国旗及び国歌に関する法律」として成立

第2条 国歌は、君が代とする。

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
巖となりて
こけのむすまで

第1条 国旗は、日章旗とする。



市民生活の安心安全のために



無所属 藤井 慶峰 議員

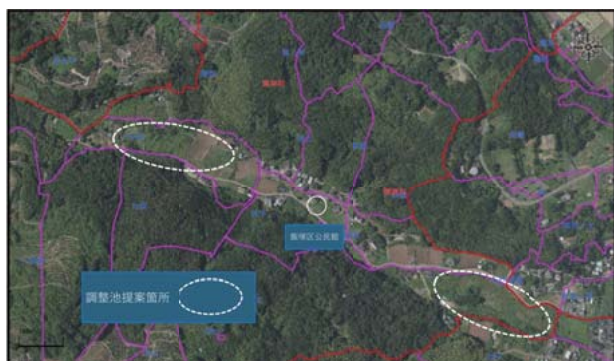


飯塚川に二つの遊水池を

問 大雨のたびに氾濫し、水害を引き起こす飯塚川について、飯塚公民館の上部と椿原地区の南側に二か所の遊水池を造れないか。

答 飯塚川の流下能力向上を目的に調整池の整備についても検討を進めてきたが、調整池を整備しても河川自体の改修も必要であること、近年の異常気象に十分対応できるか不透明であること、浚渫・除草の費用が継続的に必要であることなどから調整池は整備しない判断に至った。現在のところ、浚渫等の適切な維持管理や避難体制の充実等を推進していく。（建設部長）

問 飯塚公民館の上部と椿原地区の南側の二か所に大きな遊水池を造れば、下流部の水害も防げるのではないか。金子代議士が国土交通大臣を務めておられるのでご協力をお願いしてはどうか。



答 船場川をはじめとする本市の飯塚川以外の河川流域においても、河川の氾濫が発生した場合、広範囲にわたって住民生活や都市機能に深刻な影響を及ぼす可能性がある。飯塚川のみならず、市内全体の河川を対象とした総合的な治水対策が必要と考える。

今回、熊本県出身の金子衆議院議員が国土交通大臣の要職に就いておられることは、本市の課題を国に伝える上で大変意義深い機会であると認識している。（市長）

介護基金を活用し介護施設等への財政支援を



日本共産党 福田 慧一 議員



訪問介護事業所・入所施設への支援を

問 介護報酬切下げと物価高で経営が厳しい訪問介護事業所や入所施設への財政支援を。

答 令和6年度の報酬改定により、基本報酬が2%引き下げられた市内の訪問介護事業所に対して、収支状況等に関するアンケート調査を今年度実施した。その結果は、ほとんどの事業所で「令和5年度と比べ悪化した」と回答され、介護報酬改定の影響については、半数を超える事業所が「厳しい」と回答された。市としては、今後の国の総合経済対策で、活用できるものがあれば積極的に活用し、支援を行いたいと考えている。

(健康福祉部長)

小中学校の図書館の充実を

問 小中学校の図書購入費の増と大規模校に対する図書支援員の複数配置と継続雇用を。

答 図書購入費は物価高騰を踏まえ、1500円だった1冊当たりの図書購入単価を、令和7年度に小学校は1942円、中学校は2020円へ見直している。大規模校での図書支援員の複数配置は、学校現場や他市の状況、財政状況も考慮し慎重に検討する。また、図書支援員の継続雇用は重要と認識しており、安定した雇用に努めたい。

(教育長・教育部長)

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基金保有額	667,000	750,000	817,000
保険料収入額	722,000	730,000	722,000
翌年度への繰越額	197,000	170,000	111,000

介護保険基金、介護保険特別会計繰越金等の状況

多くの公共施設の老朽化が進むなか、多目的交流施設の優先判断は妥当か



会派「風」 土黒 功司 議員



多目的市民交流施設の事業規模と運営モデル

問 児童センターの将来方針が示されないまま交流施設整備が先行している。今後のセンターの運営等の考えは。

答 交流施設に子育て世帯向けの交流スペースを設け、児童館的機能も持たせる予定。児童センターは利用年齢を拡充し、長寿命化を図りながら、両施設の相互利用を進める。(健康福祉部長)

問 交流施設は当初5億円規模と説明があり、現在約14億円とのことだが増額の経緯は。

答 図書館の複合施設化等に伴い、建築面積の増加、物価高騰、設備追加等で事業費が拡大したが、児童館的機能の追加により有利な補助を活用でき市の実質負担は約5.1億円に抑えられた。(教育部長)

問 老朽化施設が多い中、本事業を優先した理由は。

答 図書館を含む複

合的な整備に使える新交付金が創設され、有利な財源を確保できたため。

(企画財政部長)

問 建設後の財政負担の抑制案は。

答 指針となる市公共施設等総合管理計画に本事業の優先順位やランニングコストが示されており、今後はその認識を具体化した管理計画の策定が必要と考える。

(市長)

要望 事業規模の変化や優先順位、財政見通しについて丁寧な説明を。公共施設全体の関係性を整理し、市民が納得できる判断を行ってほしい。

1 公共施設における現状と課題

(1) 施設の老朽化

- 建築系公共施設のうち、大規模改修が必要とされる築30年を経過した建物が60.4%を占め、昭和56年(1981年)の新耐震化基準以前に建築された施設は、全体の43.6%を占めています。
- 今後、老朽化した施設の安全性や品質を保つために大規模な改修や更新が必要となりますが、築30年以上の建物で約6割あるため、大規模改修の費用が一時期に集中してかかることが予想されます。特に、学校教育施設や公営住宅は数多く、古い施設が多いため、改修や更新の時期が集中することが懸念されます。

(2) 財源の不足

- 本計画策定時において、建築系、土木系、企業会計すべての公共施設の更新費用を試算した結果、今後40年間で1,355億円(年平均33.9億円)かかることが分かりました。過去の投資の経費と比較した場合、毎年15.5億円不足することになるため、将来の人口や財政の規模にあった公共施設の適正化(適正量、適正配置)を行い、維持管理費用や更新費用等の削減を図る必要があります。

宇土市公共施設等総合管理計画～公共施設の現状と課題～

宇土市発展のカギは交流人口と関係人口の増加！



公明党 中野 洋一 議員



物価高対策

問 柔軟に用途を決められる物価高対策の「重点支援地方交付金」を早急に市民に届けるため、現段階の支援の考えは。

答 本交付金は物価高に苦しむ市民生活を支えるところに重点があるので、可及的速やかに取り組めるよう準備を進める。報道されているおこめ券は、農村部のある本市には適切でないため、商品券を考えている。

(市長)



物価高対策を迅速にお届けしてください！

交流人口・関係人口増加への取組

問 移住・定住を増やすには、本市の魅力や良さ

を知ってもらい、訪問や興味を持ってもらうことが必要と考える。現在、本市を訪れる交流人口や、本市に興味のある関係人口の増加に向けた取組はあるか。

答 今年度「広報プロモーション係」を新設し、うとハッシン！プロジェクトと位置付けた市の魅力発信に積極的に取り組んでいる。交流人口増加の取組としては、国の補助金を活用し国内外の台湾人をターゲットとしたツアーを造成して、外国人観光客の誘客強化等を行った。また関係人口増加の取組として、ふるさと納税の推進等、地域と市外居住者が継続的なつながりを持つ機会を創出を図っている。(企画財政部長)

※他に災害対策として、通電火災を防止する「感震ブレーカー」設置の補助」を求めた。

「男女共同参画」は、こどもまんなか社会の基盤！



会派「風」 浦本 晴美 議員



こどもまんなか社会を実現するサービスについて

問 母親の産後孤立課題とフォロワー体制の強化は。

答 産後の母親の孤立は産後うつ・虐待リスクの要因にもなりうる。本市は産後ケア事業、産婦健診費用助成、乳児全戸訪問などを実施し、また、支援の必要性が高い保護者には専門職が連携し定期訪問等に対応を強化している。さらに利用しやすいよう既存制度に見直しを加え、行政だけではカバーできない部分については地域全体で支える応援体制づくり(子育て支援者・企業・団体・行政等をつなぐ仕組み)に取り組み、フォロワー体制を強化する。

(健康福祉部長)

提言 産後孤立対策は、早期発見・継続支援が重要。専門職・生活支援・つながりづくり三位一体のケアに向け、地域・民間連携による新たな支援仕組みの導入を。

女性活躍推進事業の未来について

問 男女共同参画の更なる推進のために専任の部署を設置する考えは。

答 本市には男女共同参画専任部署がなく、これまで取組は十分であったとは言えない。今年度は新たな一歩として「うとみらいカレッジ」を実施し、参加者からも一定の評価を得た。現行体制で事業展開を図る中で、組織強化が必要となった際は、来年度以降、専任部署の新設も含め検討する。

(市長)



11/15 第3回うとみらいカレッジ

JR 三角線「逆転の発想」 便利より不便を楽しむ！



無所属 佐美三 洋 議員



三角線に不便なシステム導入を！

問 JR三角線の1km当たり1日平均乗客数が現在千人を切り、このままでは代替交通を議論する国の再構築協議会設置のおそれもある。この状況下、市は何ら対策を講じていない。担当課は無いに等しい。責任ある体制の構築を望む。また沿線人口は減少の一途、通勤通学等で利用する生活列車だけでは限界があり、今後は観光列車に置き換えた取組が存続の鍵となる。そこで提案として、三角線の駅には自動改札機が無い。つまりICカードが使えない。これを逆手に取り三角線に昔存在した硬券切符による不便なシステムを導入する。将来的には国鉄時代の古い車両を走らせ、九州最古級の木造駅舎網田駅を観光の柱に据えて新たな活路を見出す。何でも便利



三角線には自動改札機が無い。硬券切符の復活を！

になり過ぎた現代「便利より不便を楽しむ」三角線に乗れば国鉄時代の体験ができる、こんな「逆転の発想」が今必要ではないか。宇城市や県と予算を付け、JRと一体で取り組む。こうした取組が全国の鉄道マニアを始め観光客を呼び込む試金石になり得るのでは。宇土市から率先し行動を起こして貰いたいがいかがか。

答 持続的な利用促進に向け、議員提案も踏まえ関係機関と情報共有を図り、実効性ある施策を検討する。
(市長)

議会ライブ配信のお知らせ

宇土市議会では、インターネット上で生の議会が視聴できる議会ライブ配信を行っています。「なかなか議場まで来る時間がない！ 病気で外出ができない！」など、様々な事情で議場での傍聴ができない方でもご覧いただけます。



- ※ライブ配信（外部サイト：YouTube）は、本会議開会中のみ実施しています。
- ※公開されている映像及び音声は、本市議会の正式な記録ではありません。
- ※機器の故障等により、配信ができない場合や途中で中断される場合があります。
- ※ Wi-Fi や有線 LAN を使用せずに視聴する場合は、データ通信料にご注意ください。

総務市民常任委員会

総務部・企画財政部・市民環境部
行政委員会などを所管

委員長 中口 俊宏
副委員長 浦本 晴美
委員 山村 保夫 藤井 慶峰
野口 修一 柴田 正樹

《議案関連》

熊本市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更

問 当該事務組合の事業内容は。

答 今回の規約変更に関連する交通災害共済金の給付に関する事務のほか、市町村等非常勤職員の公務災害補償に関する事務や、市町村等職員の退職手当に関する事務など、さまざまな事務の共同処理を行うものである。

問 宇土市の加入状況は。

答 消防補償等に関する事務に加入している。また、加入の検討の一例として、例えば退職手当に関する事務について過去に検討をしたことがあるが、総合的に勘案した結果、加入は見送った経緯もある。

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

問 網田コミュニティセンターの電気料について、太陽光発電設備が設置してあると思うが、補正しなければならぬ状況なのか。

答 新しい建物で、予算を計上した段階では電気の使用量が不透明だったため、今回の増額となっている。

(委員から意見) 太陽光発電設備を増や

すことで、電気料を抑えられる可能性があるのではない



網田コミュニティセンター

問 年金システム改修委託料について、この委託料は、特定の1社との契約になるのか。

答 既に入っているシステムの改修のため、特定の1社との契約である。

(委員から意見) 導入しているメーカー

でないといけないということは理解するが、他市の状況などを確認し、できるだけ競争性を持たせてほしい。

問 企業版ふるさと納税について、今回市と企業との仲介をもらった銀行はどのような役割を担っているのか。

答 制度に興味がある企業などに働きかけたり、逆に企業からのお尋ねに対して、宇土市を紹介していただいている。

問 現在年間どれくらいの実績があり、どのような会社が付属しているのか。

答 昨年は960万円の実績があり、今年は今時点でも600万円程度申込みがあっている。また、測量・設計関係のコンサルタントや不動産関係などの企業が多い傾向である。

経済建設常任委員会

経済部・建設部・農業委員会を所管

委員長 佐美三 洋
副委員長 土黒 功司
委員 福田 慧一 村田 宣雄
西田 和徳 中野 洋一

《議案関連》

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

問 マリーナ施設管理経費について、マリーナの浚渫工事に係る経費として約8,000万円計上されているが、施設を維持管理するための経費を、指定管理者ではなく、市が負担するのはなぜか。

答 指定管理者と市との間でリスク分担を定め、修繕に要する費用は年間400万円までは指定管理者が負担し、それを超えた後は、1件当たりの修繕費が50万円以上を市が負担すると取り決めている。

問 400万円というのは他の自治体でも一般的なのか。

答 類似施設を持った他の自治体と比較したところではないが、本市の指定管理導入施設においては、400万円より安く設定している場合もある。



宇土マリーナ

《議案以外》 訴訟の提起について

問 市営住宅家賃の滞納管理について、市営住宅に入居する際、連帯保証人を立てているものの、債権の上限額があり、滞納額全額を回収できないケースもあると思う。そこで家賃保証会社を入れて滞納している家賃賃料の立替払い等を担ってもらうシステムを導入するという考えはないか。

答 本市では、市営住宅等連帯保証人免除取扱要綱を定め、条件に合えば申請により連帯保証人を免除している。保証会社を入れることは一つの案として、制度の把握に努めたい。

(委員から意見) 保証会社を入れることで、様々な本人の事情を考慮しながら、滞納者への対応をしてきたこれまでの市のスタンスを維持しつつ、悪質滞納者の退去や、家賃賃料の保証などメリットがあるため是非検討してほしい。

住吉海岸公園内施設の占用料について

問 住吉海岸公園内には施設が設置されており、占用料が発生していると思うが、その契約期間は何年か。

答 契約は30年となっている。

(委員から意見) 住吉海岸公園内にはジンベエ像もあり、駐車場やトイレ等の整備を市が行ってきたことで、観光客が増加してきている。少しでも市の収入を増やすために、公園内に設置されている施設の占用料は引き上げる等の見直しをお願いする。

文教厚生常任委員会

健康福祉部・教育委員会を所管

委員長 園田 茂
副委員長 杉本 寛
委員 檜崎 政治 宮原 雄一
今中 真之助 小崎 憲一

《議案関連》

《指定管理者の指定》

問 宇土市老人福祉センター及び宇土市西部老人福祉センターに係る指定管理者の選定委員会では、どのような基準で審査されているのか。

答 イベントの開催予定や送迎体制、利用者拡大の取組、人員配置、地域との連携などを総合的に審査している。

問 指定期間5年間の途中で、中間評価は行われているか。

答 厳格な評価は行っていないが、運営については随時連携を取っている。また、指定管理者が年に1度、利用者に対して実施しているアンケート結果を踏まえ、指導や改善を行っている。

問 宇土市民会館に係る指定管理候補者が現行の指定管理者と同じだが、どのように評価しているか。

答 地元根ざした取組に尽力されており、選定委員会では高い評価を得ている。

問 今後の市民会館の役割について、どのように考えているか。

答 単なる貸館業務にとどまらず、宇土市独自の取組である自主文化事業を継続し、市との連携を通じて市民の文化力向上を目指したい。

(委員から意見) 現時点でも内容が充実した素晴らしいイベントを開催しているが、来客数が少ないため、周知や集客に力を入れてほしい。

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

問 緑川小学校及び網田小学校のプール水槽部分の改修工事について、工事の内容は。

答 経年劣化による塗装材の剥離が進んでいるため、プール底面にシートを貼るものである。

(委員から意見) 体感だが、自分が学生だった頃に比べ、プールの授業回数が減少しているように感じる。児童・生徒数の減少や物価高騰、限られた財源を踏まえると、例えば、プールの数を減らし、学校間で共有する利用方法を検討するなど、創造的な方法も含めて今後の学校プールの在り方について検討が必要があると思う。

問 多目的市民交流施設整備について、施設の図面はあるか。

答 現在、実施設計中であり、近いうちに完成する予定である。

(委員から意見) 整備事業に係る債務負担行為設定の審査に当たり、具体的な施設整備の内容を把握する必要があるため、現時点での図面を示してほしい。

問 現行の図書館と比べて、年間維持費の見込みはどうか。

答 詳細な積算はまだ行っていないが、児童館の機能の追加や床面積の増加に伴う人件費や光熱費などの増加により、維持費は、現行の約6,480万円から約8,200万円程度に増加する見込みである。今後、指定管理者制度の活用などの検討を含め、詳細な積算を進めていく。

宇土市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 いわゆる、こども誰でも通園制度について、現時点で事業に取り組み意向のある保育所等の数と、利用登録者数の見込みは。

答 現在5園の保育所が検討されており、来年2月までに選考する予定である。また、利用登録者数は、最大で1000人程度を見込んでいる。

問 現時点での保育所等の待機児童数は、20人程度である。

(委員から意見) こども誰でも通園制度は、保護者の就労の有無に関わらず、子どもを預けることができる制度であるが、待機児童を軽視せず、働いていない保護者の子どもの優先することがないよう配慮してほしい。

地域高規格道路促進等対策特別委員会

委員長 宮原 雄一
副委員長 小崎 憲一
委員 村田 宣雄 野口 修一
西田 和徳 今中 真之助
佐美三 洋 浦本 晴美
土黒 功司

《執行部からの説明》

熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路における用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から変更はあっていない。

熊本宇土道路

【令和6年度繰越事業・調査設計】（3件とも工期延長）

- ・令和6年度熊本天草幹線道路測量（その7）業務
- ・令和6年度熊本天草幹線道路調査設計業務
- ・令和6年度熊本天草幹線道路軟弱地盤解析検討業務

【令和7年度事業・調査設計】

- ・令和7年度熊本天草幹線道路測量設計業務（契約締結）

◆熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路において、工事の基礎資料作成のため、測量及び設計を行うもの。

宇土道路

【令和6年度繰越事業・調査設計】

- ・熊本宇土道路の令和6年度繰越事業・調査設計と同じ業務3件

【令和6年度繰越事業・工事】

- ・熊本57号長浜地区改良4期工事（工期延長）

【令和7年度事業・調査設計】

- ・熊本宇土道路の令和7年度事業・調査設計と同じ業務1件

【令和7年度事業・工事】

- ・熊本57号長浜地区改良5期工事

（工期延長）

- ・熊本57号網津地区4号函渠2期工事（工期延長）

- ・熊本57号城塚地区改良26期工事（工期延長）

- ・熊本57号平原橋下部工（P3）工事（工期延長）

- ・熊本57号網津地区改良3期工事（工期延長）

- ・熊本57号長浜地区改良6期工事（工期延長）

- ・熊本57号網津長浜トンネル（長浜工区）新設工事（入札公告）

◆長浜地区での網津長浜トンネルの新設工事

宇土三角道路

【令和6年度繰越事業・調査設計】

- ・熊本宇土道路及び宇土道路の令和6年度繰越事業・調査設計と同じ業務3件

【令和7年度事業・調査設計】

- ・令和7年度熊本天草幹線道路地質調査（その9）業務（契約締結）
- ・熊本宇土道路及び宇土道路の令和7年度事業・調査設計と同じ業務1件

《主な質疑》

問 熊本宇土道路の令和6年度当初予算は2億円、令和7年度も同じ予算額だが、この予算の具体的な執行状況や内容を知りたい。

答 予算ベースでは約37%の事業進捗率となっているが、具体的な内容について、国土交通省に確認する。

問 熊本宇土道路の現在の予算の付き方と、想定されている総事業費をみると、開通まで何十年かかるかわからないのではないか。

答 道路事業を行う際は、調査、設計、用地買収、そして工事と進めていくが、宇土道路を例に見ると、工事着手後に大きな進捗が見られる。そのため、熊本宇土道路も工事に入れば事業は進捗すると考えている。

決算審査特別委員会

委員長	梶崎 政治
副委員長	杉本 寛
委員	福田 慧一 山村 保夫 中口 俊宏 宮原 雄一 西田 和徳 小崎 憲一 浦本 晴美

《審査の経過》

執行部に対し、主要な施策の成果に関する説明書や各種資料の提出、及びあらかじめ本委員会から抽出しておいた事項について説明を求め、監査委員の意見書なども参考にしながら慎重に審査を進めた。

委員会は計7回開催し、審査を行う際には「予算の執行にあたって、議決の趣旨に沿って適正に、かつ効率的に行われたか。また、その結果一見込んだとおり行政効果を達成することができたか」という点を重視し、更には「今後の行政運営においてどのような工夫改善がなされるべきか」という視点をもって審査を重ねた。

決算の概要

一般会計歳入総額は225億9、112万円に対し、歳出総額は219億9、274万円、差し引き5億9、838万円の黒字。また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた、実質収支額は2、527万円の黒字である。

財政指標について、経常収支比率は95・8％で前年度より0・9ポイント悪化し、依然として硬直化した財政状況になっている。また、実質公債費比率は、前年度より0・4ポイント悪化し12・0％、財政力指数は、0・49で前年度より0・01ポイント悪化している。

起債現在高は213億3、387万円で前年度末より3億5、634万円の減額、各種基金の年度末現在高は71億1782万円、前年度末より2億6、956万円の減額となっている。

次に、特別会計は全部で5つあり、その歳入総額は87億6、985万円に対し、歳出総額は86億4、422万円、差し引き1億2、563万円の黒字となっているが、一般会計から3つの特別会計に11億2、401万円が繰り出されている。

歳入確保と予算執行

歳入総額は前年度に比べ2・84％、6億6、091万円の減少となっている。

また、不納欠損額は一般会計と特別会計を合わせて2、692万円となっており、前年度と比較すると1、591万円減少している。

予算執行については、10年程度続く熊本地震関連

事業の起債の償還のほか、ますます高騰する物価や人件費への対応など、極めて厳しい財政状況の中で、議決の趣旨に沿って適正な運用が行われており、おむね所期の目的を達成したものと認められる。

《主な質疑》

行政主導の土地開発

問 開発候補地の一つは、地盤改良の必要性や開発事業者の採算などでなかなか開発がうまくいかないと思うが、どのような感触か。

答 その候補地に非常に興味を持たれている事業者があり、協議を続けている。

問 それぞれの候補地で誘致すべき業種を、どのように考えているか。

答 沿線付近の状況に合わせて、工業系、商業系、住宅等の業種をそれぞれ誘致できればと考えている。

《委員から意見》

宇土に興味を持った事業者に対して、土地の詳細や有利な補助の説明など、しっかりと行っていきたい。

地方バス路線維持費補助金

問 バス利用者は年々減少傾向という説明だが、本年10月からのバスの大幅減便に対して、学生や高齢者、移住・定住を考える人にとっての住環境の面からみても不便かと思う。今後どう考えているか。

答 同じようなバス路線を復元するには人的・物的に難しい面があるため、既存の補助金制度等を活用しながら、来年度、地域公共交通に関する計画を策定し、その中で方向性を検討していきたいと考えている。

《委員から意見》 路線廃止の影響を受けた地域のフォロー策と、宇土駅へのアクセスを最優先に考えてほしい。

空き家バンク活用事業

問 令和6年度の補助金の実績が、事業件数でいうと見込みの約25％、当初予算からみた予算執行率でいうと約27％と低調だったが、原因や改善策は。

答 原因としては見込みが過大だったことが挙げられる。ただ、ホームページの改善や民間企業のサイトへの空き家の掲載、増員した地域おこし協力隊を活用し、実際今年度はかなりの伸びが見られた。

廃棄物減量化対策事業

問 国は、温室効果ガスの排出を、2050年までに全体としてゼロを目指すとして掲げているが、市としての取組状況はいかがか。

答 令和4年度から6年度にかけて、燃えるゴミは少しずつではあるが減ってきている。ゴミの再資源化についても数値的には上昇している。

問 ゴミのリサイクル率は国の平均に対してどうか。

答 おおむね国の平均と同じくらいである。ゴミの分別・減量化をさらに進めていきたい。

《委員から意見》 生ゴミも現在焼却していると思う

が、その際の燃料を考えると、シンク下に設置して生ゴミを粉碎・処理し、下水道に流す仕組みであるデイスポージャーの設置補助について、調査検討してほしい。

宇土市の句を届ける実行協議会事業

問 実行協議会は解散したとのことだが、今後は、農林政策課が主体となってウトブランドをPRしていくのか。

農林政策課だけではなく、市全体でPRしていくのか。

問 農産物等の販路拡大の具体的な対策は。

問 農産加工施設や加工品の商品開発に対しての補助金を交付し、生産者が稼いでいただくような仕組みにしていきたいところから販路拡大につなげたい。

住宅リフォーム助成事業

問 国からの交付金枠が減額されたとのことだが、その対応は。

答 令和7年度においては、更に減額されており、これまでの実績並みに申請ができるよう一般財源の割合を増やし受付を行っている。

《委員から意見》 コストが50円も違うのなら、口座振替強化年として特典を設けるなど口座振替の推進により一層力を入れてもらいたい。

宇土市の句を届ける実行協議会事業

問 令和5年度の活動内容が、それ以前と異なる理由は。

答 以前は、協議会主導で市の食材を用いた商品開発や販売会等を行っていたが、費用対効果を考え、令和5年度から地域活性化起業人と連携し市内農産物とそれを使用した加工品の販路拡大や、市外バイヤーとのマッチングなど、市内生産者を支援する形へと方針を転換したためである。

《委員から意見》

商品券を助成するこの事業は、建設業者のみならず商業者にも好評なので、引き続き市独自の対応をお願いする。

住宅・建築物安全ストック改善事業

問 住宅の耐震診断や改修を行った者に対して補助する本事業の利用者が少ないが、十分機能していないのではなか。

答 令和7年度から令和8年度においては、国費に加え、県費も上乗せされており、補助金が増額されたことで、制度利用者は増えると期待している。

生活保護費の返還金に係る不納欠損

問 どのような場合に返還が生じるのか。

答 例えば、受給者が働いて収入を得たにも関わらず、申告をせず、不正に受給した場合などに返還となる。

問 受給者が働くことができるかどうかの確認は行っているか。

答 ケースワーカーが確認するようにしている。また、稼働能力がある受給者に対しては、就労支援員を通じて求人情報の提供も行っている。

問 滞納処分は、未収金対策マニュアルを基に行っているとのことだが、どのような内容か。

答 税務課が行っている滞納処分を基に作成し、関係部署で共有しているものである。

《委員から意見》 共通のマニュアルに従って対応するだけではなく、それぞれの部署に合った、マニュアル＋αの対応を心掛けてほしい。

がん検診等各種健診事業

問 国の目標値と比較して本市の各種がん検診率は低くなっているが、個人で病院に行つて検査した場合や、持病で通院した際に集団検診での検査と同様の検査を行った場合などは検診率に反映されているか。

答 個人から申し出があった場合を除き、集団検診以外の検診状況を把握していないため、検診率には反映されていない。

《委員から意見》 把握することができれば検診率が向上すると思うので、市内の病院から情報提供を受けるなど、方法を検討してほしい。

《委員から意見》 例えば、病気でバリウムを飲めないなど、市が指定する方法で検査できない方もいるため、他の方法で検査した場合であっても助成対象となるように検討してほしい。

轟泉水道と旧高月邸が一体となった文化財の国指定を目的とする文化的景観整備事業

問 轟泉水道の維持管理体制はどうなっているか。

答 水道利用者で構成される組合が、専門的な技術を用いて管理を行っている。

《委員から意見》 保守管理は今後も継続して必要となるため、後継者の育成にも力を入れてほしい。

《委員から意見》 例えば、市外からの観光客に轟泉水道を紹介する場合、案内できる場所がない。予算の増額や組合との連携により、轟泉水道の「見える化」に取り組んでほしい。

学校のICT環境整備

問 学校の先生に対するICT教育の勉強会などは実施しているか。

答 先生を対象とした研修を実施している。また、随時、相談に応じている。

問 市が昨年度作成した情報活用能力チェックリストの活用年度は。

答 今後、チェックリストを活用し、児童生徒に対するアンケートを実施する。この結果をもとに、機器の利用状況や情報リテラシーなどについて把握する。

議会改革特別委員会

委員長 藤井 慶峰
副委員長 樺崎 政治
委員 福田 慧一 山村 保夫
中口 俊宏 今中 真之助
佐美三 洋 浦本 晴美
杉本 寛

《本委員会について》

令和6年12月定例会において、9名の委員で設置され、本委員会の前身となる議会改革検討会の目的を引き継ぎ、「議員定数」、「議員報酬」、「費用弁償」、「選挙運動費用に対する公費負担」及び「女性議員が増えるための取組」といった五つのテーマを主とする議会改革に関する事項について、適正な判断を行うため、さらなる調査・研究に取り組む。

第7回委員会

・第6回委員会に引き続き、女性議員が増えるための取組をテーマとし、協議

【女性議員が増えるための取組】

（委員から意見）女性議会の開催等、女性の方が立候補するきっかけ・機会となる取組を行う必要があるのではないか。

（委員から意見）地域全体から意識を

変えていく必要がある。

（委員から意見）女性候補者が増えるための取組はいいことだと思うが、議会の立場で主管して行うのは疑問がある。

（委員から意見）男女平等の観点から女性だけに特化した取組は行うべきではない。

協議結果 クォーター制度による女性枠設定など、制度として女性を優遇する仕組みをつくるのではなく、多くの方が立候補できるよう広報や啓発活動などを通じて、女性を含む多様な候補者が立候補しやすい環境を整えていく。

【要望書提出報告】

・選挙運動費用に対する公費負担について、執行機関に要望を行うこととした本委員会での協議結果を、全員協議会において承認

・市議会として、選挙運動費用に対する公費負担の制度化を速やかに行うこと、及び公費負担の制度化に必要な予算を確保することの二つの要望事項を記載した「選挙運動費用に対する公費負担の制度化に関する要望書」を市長及び選挙管理委員会委員長に提出

市長及び選挙管理委員会へ要望書を提出

11月4日(火)付けで、議長から市長及び選挙管理委員会へ、選挙運動費用に対する公費負担の制度化に関する要望書を提出しました(上記参照)。



元松 茂樹 市長へ



中熊 聡 選挙管理委員会委員長へ

処分・注意報告

本市議会議員が令和7年4月の恐喝被害に係るトラブル解決のため、知人に相談したところ、思いがけず反社会的勢力関係者がトラブル解決の場に現れたとの一連の新聞報道等を受け、本市議会としても事態を重く受け止め、全員協議会において協議を行いました。議論の結果、令和7年12月15日付け、議長名で当該議員に対し、厳重注意として文書を交付しましたのでご報告します。

宇土市議会議長 野口 修一

視察研修報告 議会運営委員会

1 静岡県掛川市議会(令和7年12月18日)

・予算決算常任委員会及び議会改革について

掛川市は、全国に先駆け生涯学習都市宣言を行い、市民の力で新幹線駅や掛川城の天守閣復元を実現してきたまちです。

掛川市の予算決算常任委員会の設置は、従来から各常任委員会へ議案を分割付託することは議案一体の原則に反し違法との指摘があったことを受け、これを解消することが目的でした。特別委員会で1年間検討した上で、常任委員会として設置されています。その構成としては、従来の3常任委員会に加え、新たに新設されたもので、議長を除く全議員(20人)での構成です。

今回の視察では、議長を除く全議員が審査に関われることはよいが、審査が重複する、長期化するなどの問題点も顕在化しているとのことで、その顕在化した問題点を一つ一つつぶしていくことが大事であることは、今後の宇土市議会における委員会設置の参考となりました。

2 静岡県藤枝市議会(令和7年12月19日)

・議会改革としての予算常任委員会と決算常任委員会について

藤枝市では、今回の研修に当たり、まず、過去に静岡県内のメディアが取り上げた地方議会の取組についてのニュースの特別番組を視聴させていただきました。そこで取り上げられていたのが、今回視察項目となった予算常任委員会及び決算常任委員会の設置です。

藤枝市議会は、予算常任委員会と決算常任委員会が別々に設置されており、その点が掛川市議会とは異なる点でした。この2つの常任委員会が相互につながることで市の政策決定サイクルの中にうまく組み込まれており、決算審査と予算編成サイクルを効果的に機能させるための独自の仕組みが構築されていました。

今回の視察では、予算常任委員会及び決算常任委員会での議会の審議が藤枝市の政策決定サイクルにうまく組み込まれていること、正に執行部と議会が全員参加で市政を進めているところにあらためて凄さを感じました。二つの市議会での委員会の違いは、今後の協議を深める参考になりました。



【視察研修参加者】今中 真之助 委員長
佐美三 洋 副委員長／山村 保夫 委員／藤井 慶峰 委員
櫻崎 政治 委員／野口 修一 議長／西田 和徳 副議長

視察研修報告 総務市民常任委員会

1 埼玉県川口市(令和7年11月5日)

・多文化(外国人)共生について

川口市は、在留外国人の数が全国の市区町村で3位(R6.12時点)の市であり、外国人の比率も継続して上昇しています。

川口市では、多文化共生推進事業を進めており、国際交流員・外国人相談員等の体制や相談窓口、行政サービスの多言語対応、日本語教育など多彩なメニューを展開していますが、近年、一部外国人住民の不法行為や迷惑行為が増加している状況にあります。そこで、ただ一緒に住んでいる「共存」から、互いが地域社会に参画している「共生」を川口市では目指す姿としており、そのために地域の外国人コミュニティの調査、連携を図ることを進めています。

宇土市でも近年増えている外国人住民に対し、少しずつ対応を進めているところですが、川口市の先進的な事業は、今後の市の多文化共生を目指す上での参考になりました。



【視察研修参加者】中口 俊宏 委員長／浦本 晴美 副委員長
山村 保夫 委員／藤井 慶峰 委員／野口 修一 委員
柴田 正樹 委員／山口 裕一 総務部長／野口 泰正 企画財政部長
加藤 敬一郎 市民環境部長

2 神奈川県三浦市(令和7年11月6日)

・公共ライドシェアについて

三浦市は、神奈川県版ライドシェア「かなライド@みうら」を令和6年4月から実証実験としてスタートしています。本事業は、市内の夜のタクシー不足を解消するため、神奈川県と協力し、登録された一般ドライバーが自家用車を使い、有償で利用者を運ぶ新しいサービスです。

実証実験の評価・検証では、利用したことがある方からはまた利用したいという声がある一方、利用したいと思わない方からは安全性に懸念があるとの声もあり、その点については車両設備やドライバーのインタビューの掲載などで安全運行の取組を周知しており、実証実験終了後も事業は継続していくとの説明がありました。

宇土市でも人口減少により、今までどおりの公共共通体系が維持できない可能性があるという課題に対して、対策の参考となる視察となりました。

視察研修報告 経済建設常任委員会

1 千葉県館山市(令和7年11月5日)

・道の駅グリーンファーム館山について

館山市では、公共団体等が資金調達し、民間事業者に施設の設計・建設・運営を一体的に委託して実施するDBO(Design-Build-Operate)方式により整備された、道の駅グリーンファームを令和6年にオープンし、体験型道の駅として注目されています。

DBO方式を導入することで、設計・建設を包括的に委託するため、費用の削減が期待できることや、契約期間が長いこと、サービス水準の向上が期待できる等のメリットがあることが分かりました。本市においても、今後の公共施設等の整備・運営における一つの手段として、DBO方式による整備・運営を検討する上で、大変参考となるものでした。

2 千葉県君津市(令和7年11月6日)

・ドローンによる橋梁点検事業(君津モデル)について

君津市では、橋梁の適切な維持管理のため行う橋梁点検事業に、「君津モデル」という、点検手法を用いています。

「君津モデル」は、職員自らがドローンを操縦し、橋梁を点検、診断する点検手法で、外部委託による点検よりも点検費用の大幅な削減、さらに、点検の効率化も図ることができます。また、実際にドローンを使った橋梁点検の実演が行われ、狭い場所や樹木等により撮影ができない所がある等の課題や、事故を起こさないための操縦における注意点等について話を聞くことができました。

本市では、自治体DXを進めており、橋梁点検だけではなく、災害時や観光面等、ドローンの幅広い活用に向けとも参考となるものでした。



[視察研修参加者] 佐美三 洋 委員長/土黒 功司 副委員長
中野 洋一 委員/山崎 恵一 経済部長/草野 一人 建設部長

視察研修報告 文教厚生常任委員会

1 長野県長野市(令和7年10月30日)

・茶臼山スケートパークの取組について

長野市では、廃止された市民プールを活用してスケートパークを整備し、令和6年10月から供用を開始しています。市民プールとしての形状を活かすことで整備費用を抑え、初級エリア、中級～上級エリアに加え、インラインホッケーなどに利用可能な広いエリアを設けています。視察日は平日の午前中でしたが、職員のほか利用者数名から直接話を聞くことができました。

本市の市民プールは、夏場の猛暑等による利用者減少や老朽化が進んでおり、市民プールの今後のあり方について検討する上で大変参考となるものでした。

2 埼玉県上尾市(令和7年10月30日)

・子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」の取組について

上尾市では、保育所、児童発達支援センター(つくし学園)、発達支援相談センターの機能を集約した複合施設「AGECOCO」を令和5年4月に開設しています。従来は各施設が市内に点在し老朽化が進んでいましたが、利便性の向上や施設間の連携強化などを目的として複合化されました。この施設では、庭園やラウンジが共有スペースとなっており、日々の保育や季節行事などを通じた交流保育が実施されています。さらに、つくし学園と発達支援相談センターの連携により切れ目ない発達支援が行われ、地域交流イベントも定期的に開催されています。また、発達段階を考慮したトイレやインクルーシブ遊具、ミストシャワーなど様々な工夫が施されています。

「こどもどもんなか」を掲げる本市では、全ての子どもが楽しく生き生きと暮らせる環境整備を進めており、施設複合化のメリットや子どもへの影響、施設間の連携、地域交流、施設の工夫など多くの点で参考となるものでした。



[視察研修参加者] 園田 茂 委員長/杉本 寛 副委員長
樫崎 政治 委員/宮原 雄一 委員/今中 真之助 委員
江河 一郎 健康福祉部長/池田 和臣 教育部長

令和7年 12月宇土市議会定例会議決結果一覧（11月28日・12月15日議決）

賛否のわかれた議案等

提出者	件名		議決結果	表決数 賛成－反対	会派名 議員名																			
					宮原雄一	山村保夫	杉本寛	今中真之助	西田和徳	土黒功司	浦本晴美	中野洋一	佐美三洋	小崎憲一	園田茂	柴田正樹	檜崎政治	野口修一	中口俊宏	藤井慶峰	村田宣雄	福田慧一		
市長	第65号	令和6年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第66号	令和6年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第68号	令和6年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第69号	令和6年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第92号	指定管理者の指定について〔網田レトロ館〕	可決	15-0	○	○	○	○	○	○	除	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第93号	指定管理者の指定について〔宇土市健康福祉館〕	可決	14-3	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第94号	指定管理者の指定について〔宇土市老人福祉センター 宇土市西部老人福祉センター〕	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第95号	指定管理者の指定について〔宇土市網津公民館 網引分館〕	可決	16-0	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第97号	指定管理者の指定について〔宇土市網田焼の里資料館〕	可決	16-0	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第99号	令和7年度宇土市一般会計補正予算(第5号)について	可決	12-5	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	第104号	宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	発議第7号	外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議員	発議第8号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める意見書	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	発議第9号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	発議第10号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、全てのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引上げを求める意見書	可決	14-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第3号	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書	採択	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第4号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	採択	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第5号	安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	採択	14-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成又は採択、●＝反対又は不採択、欠＝欠席、退＝退席、除＝除斥
※議長職の野口修一議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「－」と表示しています。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決の結果
市長	第67号	令和6年度宇土市北段原土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
市長	第70号	令和6年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
市長	第88号	宇土市税条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第89号	宇土市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び宇土市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第90号	宇土市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第91号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	可決
市長	第96号	指定管理者の指定について〔宇土市民会館〕	可決
市長	第98号	公有水面埋立免許出願に係る意見について	可決
市長	第100号	令和7年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
市長	第101号	令和7年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
市長	第102号	令和7年度宇土市水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
市長	第103号	令和7年度宇土市下水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
市長	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案答申
市長	第105号	宇土市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	可決
市長	第106号	宇土市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
市長	第107号	令和7年度宇土市一般会計補正予算(第6号)について	可決

報告

報告番号	件名
報告第15号	専決処分の報告について 専決第13号 訴えの提起について

熊本天草幹線道路整備促進を 国に要望

10月7日に、国土交通省九州地方整備局及び八代河川国道事務所、また、10月16日には、熊本県関係の国会議員及び国土交通省の本省に対して、熊本天草幹線道路の早期全線開通と整備に伴う所要の予算の確保を強く要望しました。

10月16日の要望活動では、西山宗孝熊本県議会議員と共に、金子恭之衆議院議員、馬場成志参議院議員、犬童周作参議院議員に面会し、要望及び意見交換を行いました。また、国土交通省本省訪問の際は、技監など多くの方に直接要望を伝えることができました。今後の事業促進につながる大変実のある要望活動でした。

市議会では、平成10年に「地域高規格道路促進等対策特別委員会」を設置し、熊本天草幹線道路の早期開通に向けて取り組んでいます。



要望活動の様子

市議会議員表彰

令和7年12月定例会の開会日冒頭に、本会議場において、福田慧一議員に感謝状の伝達が行われました。内容は、総務大臣から、市議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められる者に対して贈呈されたものです。



行政視察受入状況(令和7年7月～12月)

視察日	視察者及び団体名	調査事項
10月 8日	岐阜県大垣市議会	議会運営及び議会改革の取組について
10月22日	東京都足立区議会	熊本地震の概要、被災者への支援及び防災・減災対策について

令和8年3月 定例会会期日程

3月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。広報うと2月号にも掲載します。

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度傍聴してみませんか。

- ◇本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇委員会の傍聴席の定員は5人です。内容等により傍聴を制限する場合がありますので御承ください。
- ◇原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇傍聴の際は、注意事項をお守りください。



編集後記

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、議会だよりにつきましては昨年、広報委員会の構成を従来の4人編成から10人に一新し、8月1日号から新たな紙面づくりを展開しています。

今回は、二十歳の祝典運営委員の皆さんにお集まりいただき、宇土市に思うこと、政治への関心等について、若い皆さんの考えを聴かせていただきました。

これからもさらに内容の充実を図りながら、市民の皆様に分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心掛けてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

広報委員

委員長／今中 真之助 筆頭副委員長／中口 俊宏
副委員長／園田 茂 佐美三 洋
委員／檜崎 政治 西田 和徳 浦本 晴美
中野 洋一 杉本 寛 土黒 功司

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

【アドレス】<https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和7年12月定例会の会議録は、令和8年3月定例会以降に閲覧可能です。

【お問合せ】市議会事務局 0964-22-1111 内線234

